

## 調査の概要

### (1) 調査の目的

居住環境を含めた住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度等を5年ごとに総合的に把握し、居住者の現在の住まいに対する満足度、今後の住まい方の意向などの現状と推移を明らかにすることにより、鳥取県における住生活の安定・向上に係る総合的な施策を推進する上での基礎資料を得ることを目的とする。

### (2) 調査対象者

鳥取県内在住の18歳以上の世帯主5, 597名

### (3) 抽出方法

令和5年住宅・土地統計調査(総務省)の調査対象名簿(18歳以上の男女)から無作為抽出

### (4) 調査地区

鳥取県19市町村

### (5) 調査方法

調査票の送付(郵送)及び回収(返信用封筒による郵送)

### (6) 調査時期

令和6年1月

### (7) 回答状況

抽出数	有効抽出数	回答数	回答率
5, 597人 (うち不達、受取拒否222)	5,375	2,989	55.6%

### (8) 調査結果の数値について

1. 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)です。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で標記しています。
2. 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって回答比率の合計は必ずしも100%とならない場合があります。
3. 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
4. 見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は表記から割愛している場合があります。
5. 回答が選択されていない場合、回答数の制限を超える回答が選択されている場合、設問以外の内容で回答がなされている場合などについては、無回答としました。
6. クロス集計の「年代別」について、「10代」は標本数が少ないため、比較・分析する場合は除外することとしました。